国に意見書を提出しました

安全・安心な医療・介護の実現のための人材確保と処遇改善を求める意見書

我が国の医療及び介護の現場は、医師や看護師等の医療従事者、介護職員の長時間労働などにより支えられてきた面がある。

また、医療及び介護に対するニーズの変化や高度化に加え、少子高齢化に伴う担い手の不足が大きな課題となっている。

さらに、瞬く間に全世界に拡大した新型コロナウイルス感染症では、保健所、医療機関、介護施設等の平時の職員体制では、対応ができないことが明らかになった。

国では、医師の働き方改革、看護師の人材確保、さらには、介護職員の処遇改善への支援など、様々な施策を講じているが、人手不足を補うだけの労働力の確保や処遇改善などには、いまだ不十分な状況にある。

国においては、これらの取組をさらに強力に推進するとともに、今後の医療及び介護サービスの提供体制を再構築するため、さらなる労働環境の整備や処遇改善を図るとともに、新興感染症の発生・蔓延などの健康危機に備えるために、保健所の強化はもとより、地域医療の中核を担う病院等医療機関などの連携や機能強化をより一層充実させることが重要である。

以上の趣旨から、国においては、下記の事項を実施するよう要望する。

記

1　安全・安心な医療及び介護を実現するため、医療従事者及び介護職員の人材不足解消へのさらなる支援を講じること。
2　医療従事者及び介護職員の労働環境や処遇改善への支援を行うこと。
3　新興感染症に対応できる体制整備のため、保健所、医療機関、介護施設等への支援を強化すること。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和7年6月25日

熊谷市議会

衆議院議長 様、参議院議長 様、内閣総理大臣 様、財務大臣 様 、厚生労働大臣 様

環境産業 常任委員会

委員長
田中　純一
副委員長
小林　拓朗
委員
大久保照夫
須永　宣延
腰塚菜穂子
白根　佳典
江田　大助

熊谷市土砂等のたい積の規制に関する条例の一部を改正する条例について

問 「盛土規制法」の改正により、土砂堆積等の工事に係る許可制度等が新設されたことにより、重複することとなった土砂の堆積規制に係る規定を削除することで、今までその規制がかかっていた部分が緩んでしまう懸念がないのか伺いたい。

答 条例で規制されていた部分については、ほぼ全て法律に移行されるので規制の漏れが出ることはなく、罰則も強化されるので、より抑止効果が強くなるものと考える。

（環境推進課）

熊谷市家庭系ごみ削減目標の見直しとごみ排出量削減に向けた市民・事業者・行政の協働推進に関する請願について

【質疑】

問 紹介議員に課題の認識について伺いたい。

答 将来世代が気候変動による多くの弊害を受けることになってくる。熊谷市はゼロカーボンシティ宣言をしていることに加え、日本一暑いまちであるからこそ地球温暖化対策については率先して取り組むべき自治体であり、それを実現していく一つの方法として、ごみの削減がある。

（紹介議員）

問 気候変動等への対策として、ごみの減量は必要なことだと思うが、既存の審議会等において、その辺りの課題の共有やごみを削減するための本質的な実効性ある議論はなされているのか伺いたい。

答 市では、熊谷市一般廃棄物処理基本計画を策定しており、これを熊谷市環境審議会に諮問し答申を頂いている。その中で、雑がみをはじめとした資源化可能な廃棄物の分別について周知を徹底されたいという意見を頂いている。

（環境推進課）

【意見】

さまざまな意見が出たが、この請願趣旨に関しては非常に大切な課題であり、それに伴う内容だと認識している。そうした中で、請願事項について、賛成討論、反対討論がある中で、どちらともとれないということで、趣旨採択を提案させていただきたい。

総務文教 常任委員会

委員長
大山美智子
副委員長
池井　光吉
委員
黒澤三千夫
小島　正泰
影山　琢也
沼上　政幸
小林　國章

熊谷市税条例の一部を改正する条例について

問 特定親族特別控除の新設により対象となる世帯数および税収の見込額、たばこ税の課税強化による増収分の見込額について伺いたい。

答 世帯数は約270世帯、約790万円の税収減となる見込みであり、また、たばこ税の課税強化により約1520万円の税収増が見込まれる。
（市民税課）

工事請負契約の締結について（熊谷市立熊谷東小学校教室棟改修建築工事）

問 工事内容にインターネット環境の整備は含まれているのか伺いたい。

答 今回の工事は、建物の延命を目的とした長寿命化工事であり、躯体の劣化対策としてコンクリートの中性化対策、鉄筋の腐食対策等を行うが、新たにインターネット環境を整備する工事は含まれていない。



工事請負契約の締結について（熊谷市立荒川中学校教室棟改修建築工事）

問 工事概要に「その他」との記載があるが、その内容について伺いたい。

答 屋上の防水改修工事、外壁の中性化を抑制し再塗装する工事、既存仕上げ材の撤去処分を行う取り壊し工事、棚や黒板などを設置する仕上げユニット工事、建材に使用されているアスベストの除去を行う環境配慮工事等である。

工事請負契約の締結について（熊谷市立佐谷田小学校教室棟改修建築工事（1期））

問 何期にわたる工事となるのか。また、工期を分ける理由を伺いたい。

答 佐谷田小学校は1棟建ての校舎であり、各階の引越し等が複雑な工事になるため、今年度と来年度の2期に分けて工事を進める予定である。
（教育総務課）

財産の取得について（災害対応特殊救急自動車）

問 今回、老朽化による更新ということであるが、計画的に更新を行っているのか伺いたい。

答 救急自動車は熊谷市消防本部車両更新計画に基づき、8年の経過または15万キロメートルの走行を目安に更新を図っている。

財産の取得について（高度救命処置用資機材等）

問 高度救命処置用資機材等には、どういったものがあるのか伺いたい。

答 血中酸素飽和度や心電図の測定器具、除細動器、気道確保資機材、輸液用資機材などを含み、自動心臓マッサージ機や人工呼吸器などの大がかりなものから、はさみや検眼ライトのような小物までさまざまなものを備えている。
（警防課）

令和7年度熊谷市一般会計補正予算（教育費）について

問 小学校および中学校体育館空調設備整備事業について、災害時に電力供給が途絶えることを想定しているか伺いたい。

答 空調への電力供給が途絶えることも想定し、ガスヒートポンプ方式の学校については停電時自立型電源を備えたシステムを、電気ヒートポンプ方式の学校については停電時にも電源を確保できるよう仮設発電機の接続盤を設置するなど非常時に備えた環境を整備してまいりたい。

問 同事業について、学校施設開放事業で体育館を使用する際の空調の利用方法に関して詳細は決まっているのか伺いたい。

答 運用方法については学校と調整を行い、設置後の検証等も踏まえて検討してまいりたい。
（教育総務課）

問 部活動地域連携事業について、当初予算で計上されている講師等謝金と、今回補正予算に計上されている部活動地域連携に向けた実証事業の予算は、それぞれ別の取り組みに対するものなのか伺いたい。

答 当初予算で計上した講師等謝金は従前から行われている部活動外部指導者への謝金であり、今回の補正予算に計上しているものは、県から委託を受けた運動部活動の地域移行に関する実証事業の指導者への謝金である。
（学校教育課）

市民福祉 常任委員会

委員長
臼杵　健
副委員長
田中　正
委員
福田　勝美
三浦　和一
桜井くるみ
権田　清志
千葉　義浩
出井　哲司

熊谷市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について

問 本事業は、こども家庭庁が進めているこども誰でも通園制度のことだと思うが、目的を伺いたい。

答 全ての子育て世帯に対する支援の強化を目的に、家庭とは異なる経験を通じて、子供の良好な生育環境を整備するものである。

問 子供を預けたい場合には、市を通して依頼するのか、保育園に直接依頼するのか伺いたい。

答 市に利用者としての登録をした後に、利用希望者は国が構築したシステムを用いて、直接保育園に予約をすることとなる。

（保育課）

工事請負契約の締結についての変更について（熊谷市子育て支援・保健拠点施設整備事業建設工事）

問 工事中に発見された地下埋設物の撤去等により、工事の遅れが発生しているということだが、工事期間の変更をしなくてよいのか。また、オープンには間に合うのか伺いたい。

答 工事期間については、現在の工期末である令和7年12月末を2カ月延長し、令和8年2月末とすることを検討しており、工期延長するためには、共通仮設費や現場管理費等が増額となるため費用の算出を行っているところである。また、施設の開業時期については、当初、余裕を持って準備期間を3カ月としていたが、これを1カ月に圧縮することで、予定どおり令和8年4月のオープンを見込んでいる。

（こども課）

令和7年度熊谷市一般会計補正予算（民生費・衛生費）について

問 低所得者等追加支援給付金給付事業については、住民税や所得税からの定額減税を最大限受けられない方への調整給付ということだが、給付額の6億5700万円は、何人分なのか伺いたい。

答 給付対象として2万2700人を想定している。

（福祉総務課）

問 児童育成支援拠点事業について、委託先の選定基準を伺いたい。

答 国の定める実施要綱等において、社会福祉士、保育士、精神保健福祉士等、有資格者の職員配置や施設設備に関する要件等が定められている。これらの要件を満たし、児童福祉に関する本市の実態を把握している事業者を委託先として選定する予定である。

（こども課）

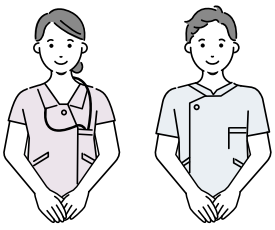
国に対し、「安全・安心の医療・介護の実現のため人材確保と処遇改善を求める意見書」の提出を求める請願について

【賛成討論】

医療や介護、保育も含めたケア労働者の生活をきちんと成り立たせるための施策がやはり必要だと思う。配置人数が本当に少なくて、いつもぎりぎりで職場を回している実態がこれらの職場ではある。新型コロナウイルス感染症のまん延の中で、誰が支えてきたかといえば、病院で働く人、学童保育や保育所、障害者の施設など、テレワーク等ができない職場の人たちが頑張って支えてきたと私は思っている。そのため、給料が安くて生活ができないとか、子育てができないなどの理由で辞めていくような実態をぜひなくしたいと思っている。

【意見】

このたびの請願に関して、安全・安心な医療・介護の実現のための人材確保と処遇改善を求めるという趣旨として採択をすることはどうか。そして、国に対して意見書を提出することについて、一つ目として、安全・安心な医療及び介護を実現するため、医療従事者及び介護職員の配置基準を見直すとともに、人材不足へのさらなる支援を講じるという趣旨。二つ目として、医療従事者及び介護職員の労働環境や処遇改善への財政支援を行うという趣旨。三つ目として、新興感染症に対応できる体制整備のため、保健所、医療機関、介護施設等への支援を強化するという趣旨として、提案したらどうか。



都市建設 常任委員会

委員長
石川　広己
副委員長
林　幸子
委員
富岡　信吾
山下　一男
新島　一英
中島　千尋
川田　勝巳

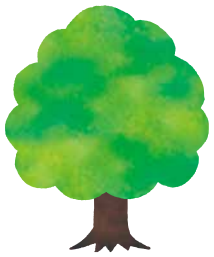
令和7年度熊谷市一般会計補正予算（土木費）について

問 みどりの基金積立事業について、昨年度の事業実績と今年度の事業計画を伺いたい。

答 令和5年度に、熊谷桜堤診断事業に活用しているが、令和6年度と令和7年度は活用していない。

問 熊谷桜堤診断事業で利用されたとのことであるが、クビアカツヤカミキリの駆除に関して、この基金を利用する予定はあるのか伺いたい。

答 現在、被害にあって枯れた木を伐採して植え替える作業を、年間12本から13本程度、計画的に行っている。桜に限らず老朽化した木が市内全域で発生しているので、今後、基金が活用できるか、現状を把握している最中である。
（公園緑地課）



令和7年度熊谷市下水道事業会計補正予算について

問 大規模下水道管路特別重点調査事業は、具体的にどのような調査を行うのか。また、外部委託をするのか伺いたい。

答 調査の方法は、全体的な巡視として、沈下、亀裂または陥没等のマンホール周辺の地表面の状況確認を行うほか、管路の施設調査として、管の中に入り潜行し、直接目視で確認して劣化や破損の状況確認を行っていく。また、この調査に関しては、外部に委託して実施する。

問 調査の時間帯などの住民への影響について伺いたい。

答 下水道排水量は、朝や夕方以降の時間帯が多い傾向であることから日中の調査を予定している。また、調査する際は、降雨が予想されない日中で、平戸中継ポンプ場の運転操作をして通常よりも水位を下げた上で実施するため、下水道利用者への影響はないと考えている。
（下水道課）

Pick up 永年勤続議員表彰



トピックス

全国市議会議長会および埼玉県市議会議長会から次の議員が永年の功績をたたえられ、表彰されました。

20年表彰

前列左から
福田　勝美 議員（2人目）
桜井くるみ 議員（3人目）

10年表彰

前列左から
小鮒　賢二 議員（1人目）・**石川　広己 議員**（4人目）
後列左から
権田　清志 議員・**小島　正泰 議員**・**腰塚菜穂子 議員**
千葉　義浩 議員・**影山　琢也 議員**